

ロシアの国立大学に

リーズナブルに留学しませんか

★モスクワ大学★

留学生を受け入れるのは「ロシア語ロシア文化インスティテュート(旧ツモ)」。当協会では独自に契約を結び、これまでに数多くの留学生を送り出しています。校舎は雀が丘のモスクワ大学本館から離れた場所にあります。授業料の送金は出発後になります。申込みは留学開始日の2ヶ月前までに。

★サンクトペテルブルグ大学★

留学生を受け入れるのは特別文学部内に設けられた「ロシア語ロシア文化インスティテュート」。当協会との独自の契約に基づき、多くの留学生がロシア語学習に打ち込んでいます。校舎は18世紀に建てられたネヴァ川建築アンサンブルの一部で、エルミターージュのすぐそばです。留学は4週間以上から、年間を通していつでも留学できます。申込みは留学開始日の2ヶ月前までに。

★プーシキン大学(モスクワ)★

1973年に旧ソ連で初めて設立された外国人のためのロシア語教育専門大学ですが、現在はロシア語教師を目指すロシア人学生も学んでいます。校舎と寮があるのはモスクワ西南地区。多くの大学や科学アカデミーの施設、オリンピック村があるモスクワでも最も国際色豊かな地域です。自由市場も活発で、豊富な商品が市場にあふれています。申込みは留学開始日の2ヶ月前までに。

★イルクーツク国立大学 (旧ユーラシア言語大学)★

留学生の受入れは学内の「国際経済言語インスティテュート」で行っています。学部進学準備コース、ロシア語研修コース、夏期ロシア語コースの3つ。コースによって1か月から10か月まで学べます。申込みは留学開始日の3ヶ月前までに。

★極東連邦大学(ウラジオストク)★

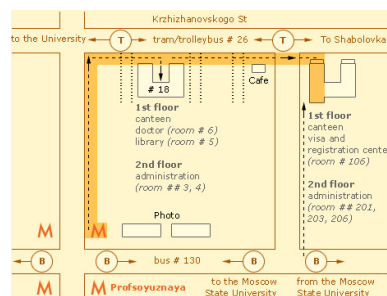
ロシア極東地方最大の総合大学。留学生を受け入れているのは、国際部のロシア語ロシア文化センター。地理的理由から、中国、韓国、日本など東アジアからの留学生が数多く学ぶ大学です。キャンパスがあるのはルースキー島で、ロシア人を含む数万人規模の学生と共に学習、生活する場となります。申込みは留学開始日の3ヵ月半以上前までに。

日口交流協会の留学支援の特色

- 日口交流協会は営利目的の企業ではなく、文化交流を目指す特定非営利活動法人です。
- 授業料は、大学の請求する実費のみ。仲介上乗せはありません。
- 可能な限りご希望の日からご希望の期間、留学ができるよう手配いたします。

★太平洋国立大学(ハバロフスク)★

旧極東人文大学が2015年の統合により太平洋国立大学教育大学となりました。留学は1学期(5か月)から可能です。大学が位置するのは街の中心をとるカール・マルクス通りで、寮もキャンパス敷地内にあります。大学近くに大型スーパーマーケットや本屋もあり、留学生にとって大変生活しやすい場所です。申込みは留学開始日の3ヵ月半以上前までに。



● 留学 Q&A

Q ほかに必要な費用は？

留学生保険、トランスファー、大学事務費（ビザ登録、ビザ延長手数料）、大学医療保険（大学で加入が義務付けられている時）、国際速達便料金（招待状郵送代）、健康診断、教科書代、授業料送金銀行手数料などです。

Q 日口交流協会にいくら払えばいいの？

ご入会をお願いしていますので、入会金+学生会費 4,000 円+留学手数料 40,000 円です。社会人の方は、入会金 1,000 円、会費は 12 月（年度末）まで月数×1,000 円+留学手数料 50,000 円です。手数料には留学申請からビザ取得、学費の送金、出迎え手配までのすべての費用が含まれています。

Q 申込みはどうすればいいの？

留学申込書（協会 HP からダウンロードできます）、パスポート原本、写真 1 枚（3.5×4.5）をお持ちください。

Q 現地でサポートはしてもらえるの、料金は？

地域によっては協会スタッフが空港に出迎え、入寮手続き、大学の事務手続きなど、到着後約 1 か月間お手伝いします。サポート料金は 30,000 円です。

Q 留学相談に行ってもいいですか？

日口交流協会では会員の方を対象に火・木の 10 時半から 15 時まで事務所で留学相談を承っています。ご入会は当日できます。電話かメールでご予約のうえお気軽にお越しください。

● 留学生の声（「留学生便り」より抜粋）

過去の学生生活で、授業が楽しかったことなどほとんど記憶にないのですが、ここでの授業は想像していたものよりだいぶ楽しいです。私はロシア語はゼロからのスタートなので、初級クラスを受けています。基本的には教科書に沿って基礎文法からです。文法と聞くとなんだか退屈だった英語の授業を思い起こしますが、そうではなく、習った文法を使って、「昨日は何をした」、「次の休みは何をする」といったような簡単な会話が中心となります。「私の国ではこう、あなたの国では？」という風にお互いの文化を披露することもよくあります。私のクラスは数人の欧米からの学生以外は中国人で占められています。最初のころは、ロシア語よりも中国語を聞いている時間のほうが長いのではないかと、冗談ではなく感じたこともありました。（サンクトペテルブルグ大学）

私はプーシキン大学で学び、大学に併設されている寮に住んでいます。寮の各階には共同キッチンがあり、そこでボルシチやサリャンカを作ると気分はロシア人です。スーパーで、スメタナやビーツなど日本では手に入りにくい食材を見ているとワクワクします。大学の授業は、選択肢が豊富で先生も熱心という印象です。また日本人が少ないので、ロシア語の習得には良い環境です。私の場合、7 月・8 月は会話と文法重視の授業に出席し、9 月からは言語学コースに出席しています。言語学コースでは文学論、成句論、またビジネスロシア語等の科目を受講します。レベルや目的別にグループが多数存在し、自分に合ったグループをフレキシブルに選択することができます。（プーシキン大学）

授業は、月曜日と水曜日が選択科目（歴史や文学、経済など）で、その他の曜日にはロシア語の授業が行われます。選択科目ももちろんロシア語で行われるので、まだまだ未熟な私は毎回必死です。先生方はみな熱心に教えて下さいます。ちなみに、私のロシア語のクラスは、日本人のほかトルコ人とスペイン人から構成されています。たまに、自分が選んだ雑誌や新聞の記事を皆の前で発表することがありますが、その際にそれぞれの国の諸事情を知ることができ、とても興味深いです。夏期講習では、一週間に一度、授業の一環として先生とクラスメート達で出かける機会があり、モスクワ中のさまざまな美術館や公園を訪れました。特にコローメンスコエ公園はとても美しく、青空の下でみんなで割り勘したクワスを飲んだり、野生のりんごをもいで食べるなどして楽しかったです。ふだんは学食を利用していますが、自炊する学生も多いです。寮の各フロアに共同キッチンがあります。この前、そこでロシア人の友達とブリヌイを作りました。（モスクワ大学）

お問合せはこちらまで

特定非営利活動法人 日口交流協会（留学担当：山田）

〒106-0041 東京都港区麻布台 3 丁目 4 番 14 号麻布台マンション 401 号

E-mail:nichiro@nichiro.org TEL:03-5563-0626